



日本空手道 建武館

今、必要なのは弱者へのやさしさ。損をしても正しい事をする正義感。

建武館キッズ大会について



第14回建武館キッズ大会
2017/6/25 SUN

UNDER FIFTEEN YEARS OF AGE KARATE TOURNAMENT 2017

■当初は苦い出来事の連続

建武館の子ども達がいわゆる寸止めから直接身体に突き蹴りをするフルコンタクトに変わったのが平成14年でした。初めころは技の形を変えるだけでも一苦労で、それだけでなく今まで当てなかったものが当てるようになったので、力加減がわからずガツンとやってしまったり、当てられて怒りだしたり泣き出したりと、苦い出来事の連続でした。



最近のキッズ大会。ようやく大会らしくなってきた。

■キッズ大会の始まりは“わんぱく練習試合”

その稽古体系の変更に伴い、子ども達はその技と精神を理解習得するまでの間は各種大会への出場を控えておりましたが、翌平成15年に入りようやく稽古にも慣れてきましたので、そろそろ試合の経験をさせる時期が来たと考え、まずは試合ルールや礼儀作法などを体験するための機会とした“練習試合”を行ない、経験を積ませることにいたしました。これがキッズ大会の始まりです。

エントリーしてあげよう
わんぱく
練習試合
開催決定
2003.11.30 (K-4ルール 顔面突きの相手)
板橋9小体育館
開始10:00 終了15:00
締切 11月15日(土)

初めこそOK!
勝負は最後まで
懸念は出さず!

■原則的に小・中学生は全員参加で、幼児は参加自由(試合なし)です。
■試合の前後も相手の稽古ができます。優秀者には賞状と賞品が授与されます。
■お子さんの動機にゆいゆいしますので保護者の皆さんはできる限り応援に来てください。
■持参品はレッグサポーター・グローブ・フェールカフ・昼食弁当・水分補給用飲料水です。
■弁当は630円で予約注文できます。お菓子・ジュース・ゲーム類は持ち込み禁止です。

当時の告知ポスター。“わんぱく練習試合”と称していた。

■ 背中を押して出場させる

試合は直接打撃の相手だけに痛くて怖いものです。それに、負けたら恥ずかしいものですから、気の弱い子は出場をためらいます。ですが、試合においては、勝ち負けの結果よりも“勝ち方や負け方”がとても大切で、負けた時の身の処し方や悔しいけれど負けを潔く認める心の広さを学ばせるチャンスなので「勝っても負けても勉強だ。負けて勉強になることもある」そう言って出させています。大事なことは強そうな相手にも、怖いながら立ち向かったということです。負けるのがイヤと尻込みせず、にやるだけやってみると、背中を押しているわけなのです。



直接打撃の相手は痛くて怖い。しかし怖いながらも立ち向かう。

■ 感動をくれた子を称える

勇気を持って出場してくれただけに、勝った子ばかりでなくたとえ負けても怖さに耐えて頑張った子に賞を贈ることもしています。たとえ負けてもすごく頑張って私たちが感動をもらった子には、勝ち負け関係なく与えます。もちろん勝つことに越したことはありませんが、しかしたとえ負けても称えてあげているのです。この、負けた子にも賞があることはキッズ大会の特長の一つでしょう。

このような賞を授与することで、痛みやつらさに堪えて、倦まず弛まず努力することの大切さを教えているわけです。



つらさに堪えて、倦まず弛まず努力する。

■ 浄財を頂いて購入

受賞した子ども達に贈る楯やトロフィーは、その趣旨にご賛同くださった方に協賛金やパンフレットの広告代として浄財をいただいて購入させて頂きました。



■ 敢闘賞

そのひとつが敢闘賞です。これは、建武館の精神を継承するために設けたもので、不撓不屈の精神をもって挑戦し、たとえ負けても自分より強い相手に立ち向かうという建武館らしい戦い方をして我々に勇気と感動を与えてくれた者を称え、敢闘賞を贈っています。

■ 特別賞

自分のことしか興味のない子が多い中で、心からの応援をして試合に臨む仲間に力を与えてくれたり、朝からの長丁場でも気を緩めず自分を律した態度を取り続けたりした者に対して贈る特別賞も設けました。

■ 努力賞

大会当日だけではありません。普段は顔面への攻撃を禁止して稽古していますが、キッズ大会のひと月ほど前から、ヘッドガードを着用しての組手の特訓が始まります。顔面に上段回しげりが容赦なく襲い掛かるという稽古が続くわけです。そんな中においても、怖さに耐えて常に明るく前向きに、地道な努力を続けた者へ贈るのが努力賞です。

■ おやし組手で子どもと共感

そして表彰式前に行う『おやし組手』もキッズ大会の特長の一つであり、また、キッズ大会の意義を深くしています。

おやし組手は親子で習う親が組手の演武をするものです。演武といってもカッコいいものではありません。どちらかというとかッコ悪く“無様（ぶざま）な姿をみせよう”という言い方のほうが、正しいのかもしれない。

子ども達は何カ月もの間、キッズ大会のために組手ばかりやらされて、つらい思いをしています。殴られたり蹴られたりして、否応なく“無様な姿”となります。そんなとき、励ますことができるのが、おやし達です。

このキッズの会場で、おやし達が“無様な姿”をさらけ出します。わが子の前でガツン！ドスン！とやられます。そんなとき、“お前もつらいよな、わかるよその気持ち…”そう理解をしてあげるだけでなく、“だけどそれを乗り越えて頑張ろうぜ、俺も頑張るからよ！”と。

自分も痛みを知っているだけに、とても子どもの気持ちがわかります。共感できます。

そして、だけど頑張ろうな、って、心の底から背中を押してあげられます。



■ 大事な何かを学び取れる大会に

なんといってもおやし達の、痛みを耐えるところがまたいい。おもしろい。そして、痛いはずなのに顔は爽やかな笑顔で、“な、空手っていいだろ！”

とても説得力があるわけですね。

建武館のキッズ大会って、そんな感じです。これからも技の覇を競り合うだけの大会にしません。大事な何かを学び取れる大会にしたいなと思っています。



■あれこれ言わず姿見せよう

親があれこれ言うばかりでなく頑張る姿を見せようぜ —— ということで空手を習っている子のお父さんたちが集まって“おやじの会”を作りました。やはり、親という草の根から理解してもらうことが大事なのだといつも思っています。



組手でヒヒヒ言ってたけれどカメラの前ではカッコよく！

■非日常を楽しむ

空手の稽古には、お互いに突いたり蹴ったりする、“組手”というものがあります。体に直接当てあうので、当たればもちろん痛い。その痛い組手を無言でやっているととっても痛いんです。ところが、オリヤーッとか言いながらやっていると、エンドルフィンが出てくるんでしょうか、痛いんだけど苦じゃなくなります。

そんな感じで、おやじ達は“非日常”を楽しんでいます。空手にちょっと興味があるお父さん、一度道場をのぞいてみませんか！

【稽古日】 毎週火・木曜日 午後8時半～9時半

【月会費】 6,500円（女性は5,400円）

※親子でご入会いただくと、月会費の安い方を1人半額とします。

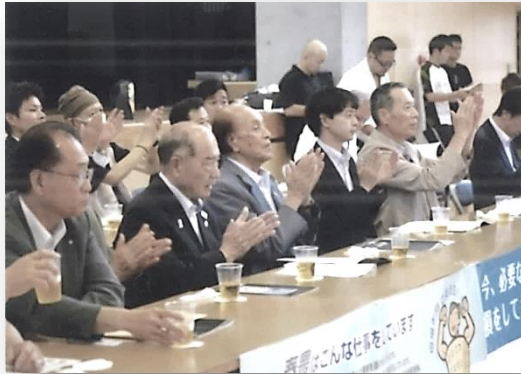


ビールがうまい！



■ 会場での応援

会場は空調設備がないため決して快適とはいえませんが、そのような中でも、じっくりと観戦され、子ども達の勇姿に大きな拍手を贈ってくださることが子ども達にとっての一番の励みとなります。この機会に是非ともご来場いただき、たとえ強そうな相手であっても怖いながら立ち向かう勇気を振り絞る子ども達の姿を、見届けてあげて頂ければ幸いです。



■ 協賛金やパンフレット広告でのご支援

建武館キッズ大会はご理解ある方々のあたたかいご支援で運営されています。昨年度の大会パンフレット広告は下記の企業・商店・個人の皆様のご協賛をいただきました（敬称略）。

■ あ行

(株)アーバン・ハンズ(後援会)
アート・ラグジュアリー
赤城工業(株)
(株)安藤工業
板橋区氷川町会
伊藤会計事務所
iNCONTRO(後援会)
(株)WITHフローリング(後援会)
(有)植田起工(後援会)
大塚製薬(株)

■ か行

亀山整骨院
甲耀クリーンサービス

■ さ行

三興塗装工業(株)
(株)ジェイコム
笑座こんぱる(後援会)
(株)シントク
セブンイレブン板橋氷川町店

■ た行

(株)高田防水工業
(株)瀧島建設
東京信用金庫板橋支店
(株)東京堂インターナショナル

■ な行

(株)ナミキ

■ は行

(株)フローリストマルヤマ
ヘアサロンオガノ
(株)堀口材木店(後援会)
(有)本澤運送店(後援会)

■ ま行

宮本歯科医院
(株)森田総商(後援会)

■ や行

ゆたか歯科クリニック(後援会)

■ ら行

(株)リブラン

KENBUKAN

たとえ強そうな相手であっても、怖いながら立ち向かうその勇氣。



そんな、子ども達を、どうか見届けてやってください。



日本空手道 建武館

会場：板橋第三中学校体育館 主管：建武館キッズ大会実行委員会 開会10:00

<http://www.kenbukan.net>